

## 日本映画衛星放送株式会社 第23回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成23年6月7日(火) 15時~16時
2. 開催場所 : 東京都江東区青海2-43 青海フロンティアビル7F  
株式会社ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング 第1会議室
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数7名  
出席委員(順不同、敬称略); 西正・鳥居美砂・田保橋淳・曽根和子・坂井保之・菊地実・石上三登志  
放送事業者側出席者氏名 ; 常務取締役 酒井彰  
編成部部長 宮川朋之・編成部副部長 昆綾子  
番審担当 高岡幸代(記)

4. 議題 : 日本映画専門チャンネル「このたびの震災に際しての編成変更等の対応について」

### 5. 議題の概要 :

このたびの震災とその後引き起こされた原発事故による深刻な被災状況を勘案し、当チャンネルでは地震や津波などの自然災害の描写を伴う映画、また、原発問題や原発事故をテーマにしたものなど、人心不安を煽りかねないと当社で判断した全6作品の放送を延期し別作品に差し替える自粛措置を取った。こうした当チャンネルの対応について、ご審議を賜りたい。また、放送を延期した作品のうち、「原子力戦争 Lost Love」については、今年7月からスタートする長期企画『原田芳雄特集』の中で編成する可能性が出てきているため、現在放送を検討中である。こちら、DVDをご覧いただき、委員の皆様方のご意見を伺いたい。

事前に「原子力戦争 Lost Love」のVTRを送付し、ご視聴いただいたうえで審議を行った。

### 6. 審議内容 :

#### < 番審委員意見 >

- ・ 何を放送すればよいか悩むが、有料放送としては、まずは何でもよいから見せるべきである。様々な意味で規制するのは、分らないでもないが、制約してはいけない。受け手側見る方としては、見ない権利もある。しかし、放送するのであれば、作品についての内容を、明解なテロップを出して伝えるべきである。
- ・ 自粛する必要はまったくない。有料放送としては、やるべきだろう。放送すれば、批判はあるだろうが、論理をきちんと持てばよい。見る側は、選択出来る。
- ・ 映画専門チャンネルなのだから、見せるべきである。見るチャンスを提供する。見る、見ないは視聴者の自由である。
- ・ 有料チャンネルとして、提供する機会があつていいと思う。自粛する必要はない。チャンネルとしての方針がしっかりしていればよいのではないか。「視聴者問い合わせ Q&A」という形で

の説明もあるので、誠意があると思う。この映画を見てどう受け止めるかは、視聴者の自由である。

- ・ 絶対に見せるべき映画である。このような作品があった事に別の意味で感動した。この作品は、色んな問題を全て含んでいるので、見る事により分ってもらえるのでないか。
- ・ 表現の自由があり、有料放送であるから、どういう理由があってこの作品を放送するのか、お断りを出して、粛々と放送すればよい。3月・4月に放送を延期したのは良いと思う。
- ・ 災害の重さにも因るので、どのタイミングで再開するかその都度判断するしかない。自然災害である地震・津波と原発は別の事だと思う。視聴者から非難されても、それは仕方がない。チャンネル側の判断と責任で放送すべきである。

#### <事業者回答>

- ・ チャンネルの考えもしっかり持ちながら、このような事態に、今後も折り合っていくような事を考えていかないといけないだろう。有料放送とはいえ、メディアや放送が持っている、一種の影響力と責任はちゃんと考えて、ひとつずつ解決するしかない。
- ・ なぜこの作品を延期したのかというと、このチャンネルを好きで見ているお客様に不愉快な思いをさせたくないと思った。これを見たらお客様はどういう思いをするだろうか。嫌な気持ちになるお客様もいるだろうと思い、放送を延期したが、果たしてその判断が良かったのかどうか、今日お話しを伺って、改めて頭の中を整理してスタンスを決めていかなければいけないと思った。

#### 7. その他の参考事項：特になし